

第9回日本公衆衛生 看護学会学術集会

日時：2020年12月25日（金）～
2021年1月24日（日）

会場：Web開催

プログラム：会長講演「公衆衛生看護の責任と実践—誰も取り残されない「社会的包摂」の実現をめざして」大木幸子（杏林大学）／基調講演「戦後のハンセン病行政から保健師活動を照射する—公衆衛生看護の責任と実践を踏まえて」／木村哲也（国立ハンセン病資料館）／教育講演1「考えることを手放さないために—ハンナ・アーレントと私たちの今」矢野久美子（フェリス学院大学）／教育講演2「水俣（MINAMATA）の歴史に学ぶ公衆衛生の役割と責任」宮北隆志（熊本学園大学）／教育講演3「コミュニティと協働し、実践を育むアクションリサーチ」市川誠一（金城学院大学）／シンポジウム1「貧困と孤立を越え地域に居場所を紡ぐために」：「生活困窮世帯の子ども達への保健活動—食育を軸とした官民協働の取り組みについて」藤田恭子（上尾市健康福祉部）、「コロナ禍におけるハウジングファースト型支援の実践から」稲葉剛（つくろい東京ファンド）、「HIV陽性者のもつ生きづらさへの支援」生島嗣（ぶれいす東京）、「居場所がない妊婦からのSOS—若年妊婦のための居場所『ぴさら』、project HOMEについて」中島かおり（ピッコラーレ）／シンポジウム2「療養者・家族中心の地域包括ケアシステムの構築1—療養者・家族の意思決定を支える」：「患者の物語とケア者の関与」宮坂道夫（新潟大

学大学院）、「神経難病療養者と家族の療養生活の選択を支える」、奥山典子（東京都立神経病院）、「ICTを活用した患者のものがたりと語りの共有による在宅医療」伊藤伸一（秋田県医師会）、「人生と生活に寄り添う支援へのICTの可能性」丹野清美（国立病院機構東京医療センター）／シンポジウム3「災害とリスクコミュニケーション—福島第一原子力発電所事故後の10年を振り返る」：「食品に含まれる放射性物質の検査のあり方に関するリスクコミュニケーション」堀口逸子（東京理科大学）、「小児甲状腺がん患者と家族への支援」牛山元美（さがみ生協病院）、「東日本大震災・原発事故避難者からのメッセージ—避難生活の困難と立ち直りの語りから保健師として考えること」草野つぎ（福島県立医科大学総合周産期母子医療センター）／公衆衛生看護技術セミナー1「実践の中にうめこまれた公衆衛生看護技術をみなおす」佐伯和子（富山県立大学）／公衆衛生看護技術セミナー2「公衆衛生看護の責任と技術を継承する—『宮本ふみ』が残した実践者へのメッセージ」：「地域と住民によりそい協働する支援—宮本ふみさんと共に築いた活動」塚原洋子（保健師のための相談室なごみ）、「宮本ふみから学んだケアの思想—倫理と技法の接続点」佐野信也（ふじみクリニック）、「宮本ふみさんの実践から技術を抽出し継承する」市川かよ子（東京都立神経病院）、「先達の足跡から学ぶ保健師のまなざしと技術」三浦千裕（東京都南多摩保健所企画調整課）、「『無名の語り』をとおして保健師教育課程で学生に伝える保健師の責任と技術」福本久美子（九州看護福祉大

学）／公衆衛生看護技術セミナー3「無関心層へのアプローチ—誰も取り残されない健康支援」：「仕掛学による無関心層へのアプローチ」近藤尚己（京都大学大学院）、「健診未受診者への個別支援アプローチ」和泉京子（武庫川女子大学）／公衆衛生看護技術セミナー4「風水害発生の二次健康被害・災害関連死を予防するために—防災対策と災害保健対策の連携をめざし」：「水害時の組織マネジメント—市内限局的水害を経験して」松野今日子（八王子市健康部）、「災害関連死を低減するために防災対策の立場から期待すること—八王子市の災害対応から考えたこと」黒田洋司（消防防災科学センター）、「防災部署との連携のために必要なこと—風水害発生時の二次被害・災害関連死を予防するために」奥田博子（国立保健医療科学院）／特別セミナー「介護者支援による地域づくり活動と保健師への期待」：「生活者と介護者の立場のはざまを感じる—家族の介護経験を通して」岸本今日子（介護者）、「介護者支援による地域づくりと保健師への期待」牧野史子（介護者サポートネットワークセンター・アラジン）／パネルディスカッション1「配偶者暴力（DV）被害者支援と児童虐待予防との連携」：「DVと子ども虐待が併存する家族へのアプローチ」加茂登志子（若松町こころとひふのクリニック）、「虐待相談の中のDV被害」川野由紀子（東京都北児童相談所）、「母子保健活動における児童虐待予防と家族アセスメント」笠真由美（杉並区子ども家庭部）、「学校は家庭内の暴力にどう向き合えるのか？」戸賀沢亮子（前埼玉県立高校）／パネルディスカッション2「療養者・家族中心の地域包括ケアシステムの構築2—多様な課題を

もつ療養者と家族を包摂する地域包括ケアシステムの構築」：「難病療養者の生活課題と地域ケアシステムー東京都保健師の難病保健活動から考える」岡田美保（東京都多摩小平保健所），「HIV 陽性者の高齢化を踏まえて地域ケアシステムを考える」池田和子（国立国際医療センター），「医療的ケア児等への地域包括ケアシステムの構築への期待」谷口由紀子（淑徳大学），「障害児・障害者を支える地域ケアシステムづくり」相良裕美（多摩市健康福祉部）／特別企画「新型コロナウイルス感染症対策をめぐる保健師の活動」：「COVID-19 対策を通してつくる新たな関係づくりー地域づくりにどうつなげるか」斉藤富美代（災害・健康危機管理委員会），「COVID-19 対策における公衆衛生看護の専門性ー人材育成の視点から」河西あかね（東京都保健政策部），「COVID-19 対策体制の中で感じる保健活動のジレンマと課題」本田浩子（東京都多摩小平保健所）／「宮本ふみ」企画展「宮本ふみさんの残したメッセージ」／ハンセン病企画展「国立ハンセン病資料館バーチャルツアー」／水俣学企画展「MINAMATA から学ぶ水俣学」／一般演題／ワークショップ／会員集会・学術奨励賞表彰報告／他

参加費：会員 7000 円，非会員 8500 円，学生 2000 円

参加登録期限：1 月 4 日（月）

学術集会事務局：杏林大学保健学部看護学科

✉ japhn9@ks.kyorin-u.ac.jp

運営事務局：株式会社ユピア内

✉ japhn9@yupia.net

第 31 回 日本疫学会学術総会

日時：1 月 27 日（水）～1 月 29

日（金）

会場：Web 開催

プログラム：疫学セミナー「ゲノム・オミックス解析技術の疫学研究への展開」岡田随象（大阪大学大学院），八谷剛史（岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構），小柴生造（東北大学未来型医療創成センター），小巻翔平（岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構），坊農秀雅（広島大学大学院），角南久仁子（国立がん研究センター）／会長講演 田中恵太郎（佐賀大学）／メインシンポジウム「新たな疫学の展開を求めて」清水厚志（岩手医科大学），後藤温（横浜市立大学），近藤尚己（京都大学大学院），二宮利治（九州大学大学院）／シンポジウム 1「新型コロナウイルス感染症における感染症疫学の現在と新たな展開」砂川富正（国立感染症研究所），西浦博（京都大学大学院），鈴木基（国立感染症研究所），押谷仁（東北大学大学院），金子聰（長崎大学熱帯医学研究所）／シンポジウム 2「新型コロナウイルスが変えた社会ータバコ対策の視点から」大曲貴夫（国立国際医療研究センター），姜英（産業医科大学），村木功（大阪大学大学院），原めぐみ（佐賀大学），田淵貴大（大阪国際がんセンター），野村章洋（金沢大学附属病院）／特別講演「HEALTH IMPACT OF LIFE-LONG PARTICIPATION IN OLYMPIC SPORT: Public health Lessons from elite Sport」Yannis Pitsiladis（University of Brighton）／シンポジウム 3「運動疫学研究の新たな展開：身体活動ガイドラインの改定に向けて」澤田亨（早稲田大学），井上茂（東京医科大学），小熊祐子（慶應義塾大学），門間陽樹（東北大学大学院），岡浩一郎（早稲田大学）

／シンポジウム 4「What is expected as “Regional collaborative activities of IEA-WP region”」井上真奈美（国立がん研究センター），Si-yan Zhan（China Epidemiology Association），Brigid Lynch（Australasian Epidemiological Association），Byung Chul Chun（International Cooperation Committee, Korean Society of Epidemiology），Tzu-Chieh Chou（Taiwan Epidemiology Association），祖父江友孝（大阪大学大学院），川合紗世（愛知医科大学），天笠志保（東京医科大学）／シンポジウム 5「日本疫学会 30 周年記念企画『Journal of Epidemiology の歩み』」中村好一（自治医科大学），祖父江友孝，磯博康（大阪大学大学院），松尾恵太郎（愛知県がんセンター研究所）

参加登録費（二次受付）：会員 9000 円，非会員 1 万 1000 円，学生 4000 円，疫学セミナー参加費 4000 円

参加登録期限（二次受付）：1 月 20 日（水）

運営事務局：株式会社日本旅行九州法人支店 Global MICE 営業部

☎ 092-451-0606

✉ jea31@nta.co.jp

大会事務局：佐賀大学医学部社会医学講座予防医学

☎ 0952-34-2289

✉ jea31@ml.cc.saga-u.ac.jp

第 91 回 日本衛生学会学術総会

日時：3 月 6 日（土）～8 日（月）

会場：富山国際会議場（富山県富山市）

登録・振込期限：1 月 8 日（金）